

同時資料提供
大阪市政記者クラブ
大阪科学・大学記者クラブ

平成 19 年 12 月 20 日
大阪市立自然史博物館
電話 06-6697-6222
担当：研究副主幹 川端清司

大阪市立自然史博物館特別展「ようこそ恐竜ラボへ！ —化石の謎をときあかず—」
を開催します

大阪市立自然史博物館では、平成 20 年 3 月 15 日(土)から 6 月 29 日(日)まで、長居公園内の「花と緑と自然の情報センター」 2 階ネイチャーホールにおいて、特別展「ようこそ恐竜ラボへ！ —化石の謎をときあかず—」を開催します。

本特別展は、モンゴル科学アカデミーと恐竜共同調査を行っている林原自然科学博物館の全面的な協力を得て、「化石を発掘・調査し、新しい事実を見つけ、復元する」恐竜研究のプロセスに焦点をあて、内容を構成しています。またその成果として、日本初公開を含む化石標本—大型植物食恐竜のサウロロフスやコリトサウルス、肉食恐竜のバリオニクス、アロサウルス、エドモントニアの全身骨格化石、デイノニクスの復元模型などを展示します。

恐竜研究のプロセスをテーマとした本格的な展覧会は日本で初めてのことです。本展を通して、恐竜研究者たちの仕事、はるか時をこえ我々の前にある「化石という地球のメモリー」につぶさに接することで、今まで体験したことのないリアルな感動がもたらされることでしょう。

また、プレス内覧会を開幕前日の 3 月 14 日(金)午後 1 時 30 分から同会場で行います。

このプレスリリースの内容は、当館の下記ホームページでもご覧になることができます。

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

開催概要

- ①名称 特別展「ようこそ恐竜ラボへ！～化石の謎をときあかす～」
- ②会期 2008年3月15日(土)～6月29日(日) 計93日間
※休館日＝毎週月曜日。ただし、4/28(月)、5/5(月)は開館、5/7(水)は休館
※開館時間＝9:30～17:00(入場は16:30まで)
- ③会場 大阪市立自然史博物館ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)
所在地:〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23
最寄駅:地下鉄御堂筋線長居駅から東へ約800m、JR阪和線長居駅から東へ約1km
- ④主催 恐竜ラボ展大阪実行委員会(大阪市立自然史博物館、NHK大阪放送局、NHKきんきメディアプラン、読売新聞大阪本社)
- ⑤後援 大阪府、大阪府教育委員会ほか(申請中)
- ⑥観覧料 大人1,100円(1,000円) 高大生600円(500円)
※かつこ内は前売料金。30人以上の団体割引あり。
※中学生以下、障害者手帳等持参者、大阪市内在住の65歳以上の高齢者(要証明)は無料。
※前売券は、2008年2月16日(土)より、チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、e+(イープラス)などで発売。
- ⑦問合せ 大阪市立自然史博物館 TEL:06-6697-6221
<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

[巡回予定]

- ・2007年3月17日(土)～5月27日(日) 名古屋市科学館＝<終了>
 - ・2008年3月15日(土)～6月29日(日) 大阪市立自然史博物館
 - ・2008年7月19日(土)～8月24日(日) 鳥取県立博物館
- ※その他、数会場にて開催予定。

企画の特徴

(1)リアルな恐竜研究のプロセス、わくわくするエピソードを楽しく体験！

本企画は、恐竜標本をただ並べるだけの特別展ではなく、日本人の研究者が、どのようにして恐竜を発掘し、研究し、よみがえらせるのか……。恐竜の研究現場に満ちあふれるさまざまなエピソードをそのまま展示にして構成します。結果として、恐竜復元骨格の背景にある、今まで表に出てこなかった「プロセス」を楽しく、リアルに体験することができます。

(2)林原自然科学博物館所蔵の国内屈指！恐竜標本の数々を全国巡回

本企画では、モンゴル科学アカデミー古生物学センターと林原自然科学博物館が実際に共同で行っている調査・研究の成果を、ユニークな5つのコーナーの展示で展開。研究現場のにおいのする貴重な標本を「間近で」ごらんになれます。

- 2足歩行の植物食恐竜としては最大級の恐竜・サウロロフスについての研究、組上までをより詳細に、より近く、研究の現場感覚たっぷりに展示します。国内で実際に日本人が研究しているからこそ可能になった展示です。
- 本展では、実物のコリトサウルス全身骨格、バリオニクス全身骨格という日本初公開となる2体の骨格をはじめ、疾走姿勢をとり迫力ある姿で復元されたアロサウルス全身骨格、背中とわき腹に装甲板を持つエドモントニア、世界的な恐竜造型家ツェルカスの手による3体のデイノニクス(映画ジュラシックパークにも登場したラプトルに近縁の肉食恐竜)肉付け標本など、普段は見ることの少ない学術的価値の高い標本の数々を展示します。
- 本展最終コーナーでは、アクティビティエリアを設置。竜脚類大腿骨の実物に触れていただいたり、恐竜が歩いていた様子を体験できるコーナーなど、ただ見て回るだけではなく、体験して確かめるハンズオン展示を行います。

企画の全体構成

(1) 恐竜ファンの部屋

恐竜ファンの脳内イメージ空間。古今東西問わず、恐竜好きの子ども、大人たちをとりこにする恐竜の魅力とはいったい何なのかを問いかけ、来館者の恐竜への興味を喚起していきます。(参考写真2.世界最大のアンモナイト)

(2) さあ、恐竜をほりに行こう！

ゴビ砂漠の発掘現場。恐竜がいた世界、どんな恐竜がどうやって暮らしていたのでしょうか。そこはどんな場所だったのでしょうか。ここから恐竜研究の旅が始まります。(参考写真 3.恐竜の発掘風景、4.ゴビ砂漠・ベースキャンプ、5.サウロロフスの発掘現場体験 7.モノリスづくり、8.発掘現場)

(3) さあ、恐竜をしらべよう！

恐竜ラボ。化石技術者が発掘現場から届いた化石をていねいに岩石からとりはずしていきます。そこでは新たな発見もあり、新事実をもらさず記録していきます。特殊な技術が恐竜復元への基礎となります。取り出された標本は、世界の標本と比較され、ラボで蓄積されたデータと合わせて研究されます。(参考写真 6.サウロロフスの骨を観察、14.サウロロフスをならべて調べる、15.バクトロサウルス)

(4) よみがえった恐竜たち

いよいよ、太古に躍動していた恐竜が数千万年前の時を経てよみがえります。証拠に基づいた科学的な考察から「恐竜の復元」に挑みます。(参考写真10.バリオニクス、11.アロサウルス、12.デイノニクス、13.コリトサウルス、16.エドモントニア)

(5) アクティビティゾーン

恐竜の足跡化石から、歩き方や速度を知ることができます。モンゴル・ゴビ砂漠で発見された、恐竜の歩いた跡を実物大で再現します。また竜脚類大腿骨の実物にふれてみたり写真をとったり、恐竜をより身近に、よりわかりやすく、さまざまな体験型展示を実施します。(参考写真9.恐竜と歩こう！)

関連催事

会期中、次のような関連催事を開催する予定です。日時、定員、申込方法など詳細が決まり次第、提供させていただきます。

(1) 恐竜ラボ・解説ツアー「ようこそ恐竜ラボへー恐竜研究はこんなにおもしろい」

(2) 恐竜ラボ・ワークショップ
—上級編「ながめて・作って・レプリカ体験」—

(3) 恐竜ラボ・ワークショップ
—初級編「きょうりゅうはりえ～デイノニクス編～」—

(4) その他

参考写真



1. タイトルロゴ



2. 世界最大のアンモナイト



3. 恐竜の発掘風景



4. ゴビ砂漠・ベースキャンプ



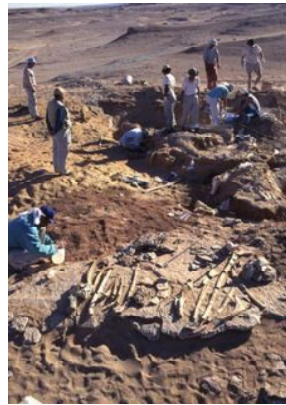
5. サウロプスの発掘現場体験



6. サウロプスの骨を観察



7. モノリスづくり



8. 発掘現場



9. 恐竜と歩こう!



10. パリオニクス



11. アロサウルス



12. デイノニクス



13. コリトサウルス



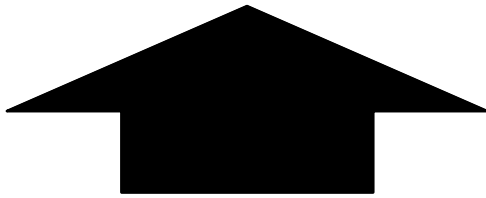
14. サウロプスをならべて調べる



15. バクトロサウルス



16. エドモントニア



<FAX送信>

FAX. 06-6697-6225

送信先；大阪市立自然史博物館内
恐竜ラボ展大阪実行委員会 宛
TEL.06-6697-6221, FAX.06-6697-6225
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

特別展「ようこそ恐竜ラボへ！」

プレス内覧会における取材をご希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、FAXにてお送りください。

またお手数ですが、掲載媒体を2部（DVD、ビデオ、カセット、MDなどは1本）お送りくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

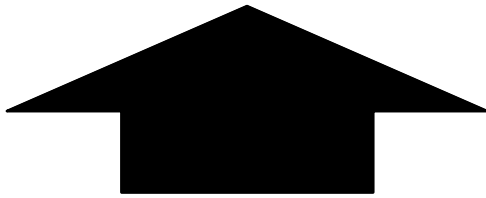
■ プレス内覧会

〔日時〕 2008年3月14日（金） プレス内覧会 13：30～

〔会場〕 大阪市立自然史博物館ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター2階）

プレス内覧会 取材申請書

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
人数（カメラ含む）	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. FAX. e-mail.



<FAX送信>

FAX. 06-6697-6225

送信先；大阪市立自然史博物館内
恐竜ラボ展大阪実行委員会 宛
TEL.06-6697-6221, FAX.06-6697-6225
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

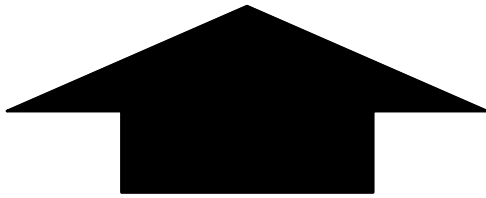
特別展「ようこそ恐竜ラボへ！」

会期中、会場内における取材をご希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、原則、ご取材の3日前までにFAXにてお送りください。なお大変恐縮ですが、撮影時間につきましては、会場の混雑状況などにより、事前に調整させていただく場合がございます。あらかじめご了承いただけましたら幸いです。

またお手数ですが、掲載媒体を2部（DVD、ビデオ、カセット、MDなどは1本）お送りくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

取材申請書

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
取材日	2008年 月 日 () : ~ :
人数 (カメラ含む)	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. FAX. e-mail.



<FAX送信>

FAX. 06-6697-6225

送信先；大阪市立自然史博物館内
恐竜ラボ展大阪実行委員会 宛
TEL.06-6697-6221, FAX.06-6697-6225
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

特別展「ようこそ恐竜ラボへ！」

添付の参考写真をご参照の上、ご希望の写真がありましたら、No に○を入れていただき、FAXにてお送りください。参考写真につきましては、原則データでお渡しさせていただきます。

参考写真の請求申請書

1. 写真のご請求について

No	写真名	No	写真名
1	タイトルロゴ	9	恐竜と歩こう！
2	世界最大のアンモナイト	10	バリオニクス
3	恐竜の発掘風景	11	アロサウルス
4	ゴビ砂漠・ベースキャンプ	12	デイノニクス
5	サウロロフスの発掘現場体験	13	コリトサウルス
6	サウロロフスの骨を観察	14	サウロロフスをならべて調べる
7	モノリスづくり	15	バクトロサウルス
8	発掘現場	16	エドモントニア

貴社名	
媒体名	
掲載・放送予定日	
所属部署／ご担当者名	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. FAX. e-mail.